

研究だより



せらにし小学校研究部

令和2年12月 2日

No.10

研究仮説

算数科を中心に、()と()を行えば、()
の中で、()を育むことができるであろう。

- (1) 「せらにし授業スタイル」をもとに、()を使って自分の考えをもたせる。
- (2) 自分の考えを表現したり、深めたりさせるために、1時間の中に必ず()を設定する。
- (3) つまづきの要因分析に応じた指導の工夫を行う。(化・ 化・ 化)
- (4) ()を高めるために、帯タイムや家庭学習(自主学習)の工夫をする。



1 公開研究会の授業の振り返り

◎学年部で話し合しましょう。

・研究仮説に沿って、振り返ってみましょう。

成果	
課題	

これから取り組むこと



2 考えるためのツールについて

- | | |
|---------|---------------------------------|
| ①ブロック | 具体物で視覚的に |
| ②絵 | 絵に言葉や数を付け加える |
| ③○図 | |
| ④テープ図 | ①～③をテープで表現 |
| ⑤線分図 | 数量の関係を表す |
| ⑥数直線図 | |
| ⑦関係図 | 数量間の関係を矢印や言葉で表す |
| ⑧4マス関係表 | 縦と横の関係が同じになるように書き，比例関係で成り立っている表 |

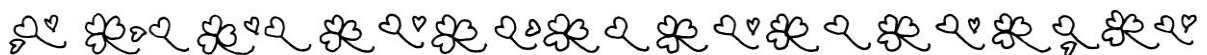
・児童に「考えるためのツール」を活用させていますか。「考えるためのツール」を活用することで，児童が自分で課題を解決する力を身に付けさせることを目指しています。研究のまとめに向けて，活用状況を確認したいと思います。

児童が実際にどの単元で，どのツールを使ったのか別紙に記入し，12月25日（金）までに提出してください。



3 研究推進のまとめについて

- 「令和2年度研究推進のまとめ」作成に向けて，研究授業，授業公開で行った授業の振り返りをまとめていただきます。詳しくは，後日，提案します。



※今後の研修予定

- 12月 9日（水）第1学年算数科授業研究（丸山指導主事・藤井指導主事）
- 16日（水）第5学年外国語授業研究（世羅町外国語推進協議会）
- 23日（水）第3学年，第4学年 事前研修

